



平成30年3月29日

九州地方整備局

九州運輸局

日本の成長センター「ゲートウェイ九州」に向けた取組を推進 ～ 平成28・29年度 九州圏広域地方計画の進捗状況 ～

九州圏広域地方計画協議会では、九州圏広域地方計画の着実な推進を図るため、計画のモニタリングとして、計画に位置づけた各プロジェクトにかかる進捗状況を把握することとしています。今回、平成28年3月の現行計画策定後はじめて、「平成28・29年度 九州圏広域地方計画の進捗状況について」をとりまとめましたので、お知らせします。

< 計画の進捗状況 >

計画の進捗状況は、12のプロジェクトを対象に、取組状況（定性的評価）とモニタリング指標（定量的評価）により取りまとめています。

○取組状況（24事例）

- ・国際旅客拠点形成港湾指定、世界遺産登録、農林水産輸出拡大 等

○モニタリング指標（38指標）

- ・国際会議開催件数、クルーズ船寄港数、高規格幹線道路等の開通延長 等

なお、詳細については、下記のウェブサイトをご覧ください。

九州圏広域地方計画推進室

<http://www.qsr.mlit.go.jp/suishin/02torikumi/index2.html>

【参考】「九州圏広域地方計画」は、平成27年8月に閣議決定された「新たな国土形成計画（全国計画）」を受け、九州ブロックの更なる発展に向け、概ね10年間のランドデザインとして、平成28年3月に策定されたものです。当計画は、自立的発展に向けた九州圏の将来展望として、「日本の成長センター・ゲートウェイ九州」を掲げ、3つの将来像を定めるとともに、その実現に向けて、重点的に取り組む5つの戦略とそれを支える12のプロジェクトを設定し、現在、推進しているところです。

九州圏広域地方計画協議会は、国の地方支分部局、地方公共団体、経済団体等により構成されています。また、九州圏広域地方計画推進室は、九州地方整備局（企画部、建政部等）と九州運輸局（交通政策部、観光部）の職員により構成されています。

【問い合わせ先】

九州圏広域地方計画協議会 事務局 TEL 092-471-6331（代表）
九州圏広域地方計画推進室 総括副室長
九州地方整備局 企画部 事業調整官 堀 康雄（内線：3116）

平成28・29年度 九州圏広域地方計画の進捗状況(概要)

■平成28年熊本地震の発生

平成28年4月14日と16日、震度7の激しい揺れが2回連続で発生し、熊本県を中心に各地で甚大な被害が発生した。

■平成29年7月九州北部豪雨の発生

平成29年7月5日、九州北部の記録的な豪雨により、福岡県や、大分県の各地で河川が氾濫するなど甚大な被害が生じた。

■12プロジェクトの取組状況

第1節 アジアゲートウェイ機能の強化

(1)アジアとの交流・連携を促進する「ゲートウェイ九州」の形成プロジェクト ①

【取組】海外展開を支援「グローバルスタートアップセンター」開設(福岡)

佐世保港・八代港 国際旅客船拠点形成港湾に指定(長崎・熊本)

(2)国内各圏域との交流・連携の強化プロジェクト ②

【取組】関門連携による地域の活性化(福岡・山口)、「九州一のRORO船基地」としての充実(大分・静岡・東京)

第2節 九州圏の活力を創出する交流・連携の促進

(1)九州圏に活力をもたらす交流・連携の促進プロジェクト ③

【取組】世界遺産登録「『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群」(福岡)

「明治維新150周年」に向けて4県連携で国内外にPR(鹿児島・山口・高知・佐賀)

(2)九州圏の交流・連携を促進するネットワーク基盤の整備プロジェクト ④

【取組】東九州自動車道 北九州市から宮崎市が直結(大分・宮崎)、有明海沿岸道路 沿線4市が高速道路で直結(福岡・佐賀・熊本)

第3節 九州圏の基幹産業や地域産業の活性化

(1)九州圏を支える基幹産業の発展と活性化プロジェクト ⑤

【取組】次世代自動車の普及環境整備(九州全域)、九州観光戦略 2023年目標値を上方修正(九州全域)

(2)高度なニーズにこたえる農林水産業や地域産業の新たな展開プロジェクト ⑥

【取組】鹿児島 ブランド和牛・黒豚及び養殖ブリなどの輸出を促進(鹿児島)、魅力ある農産品の商品開発で、海外輸出を促進(宮崎)

第4節 九州圏の圏域機能の向上と連携の強化

(1)九州圏の活力源となる高次都市機能の向上と連携の強化プロジェクト ⑦

【取組】「健幸」をキーワードに中心市街地を再整備(福岡)、自動運転からドローンまで IoT関連技術の進展(福岡・熊本・大分)

(2)都市と農山漁村の連携の強化と生活環境の向上プロジェクト ⑧

【取組】連携中枢都市圏 九州各地で連携協約を締結(福岡・長崎・鹿児島)、長崎の茶産地が進める「国際的な都市農村交流」(長崎)

(3)離島・半島、中山間地域等の活力の維持と向上を図る定住環境の形成プロジェクト ⑨

【取組】上甕島にEV導入 島民の生活交通やまちづくりに寄与(鹿児島)、集落の伝統料理や農家民泊で地域を活性化(宮崎)

(4)九州圏の活力を担う人材の地産地活プロジェクト ⑩

【取組】UIターン者の移住促進 多様な取組を展開(大分)、佐賀大学「芸術地域デザイン学部」創設(佐賀)

第5節 九州圏の安全・安心の確保と自然環境・国土の保全

(1)巨大災害等への対応力の強化プロジェクト ⑪

【取組】全国初、権限代行による復旧支援、「道の駅」災害時の防災拠点として機能強化(熊本・長崎)

(2)環境負荷の軽減と自然環境・国土の保全プロジェクト ⑫

【取組】国内最大級の「洋上風力発電施設」整備 本格始動(福岡)、国内34箇所目「奄美群島国立公園」指定(鹿児島)

平成28・29年度 九州圏広域地方計画の進捗状況(概要)

■プロジェクト別モニタリング指標 各指標データの九州圏は、沖縄県、山口県を除く九州7県の合計値(一部例外あり)

	分野	モニタリング指標
第1節 アジアゲートウェイ機能の強化	①アジアとの交流・連携を促進する「アジアゲートウェイ九州」の形成プロジェクト	○国際会議開催件数 ○外国人留学生数 ○空港・港湾の出入国者数 ○輸出入貿易額
	②国内各圏域との交流・連携の強化プロジェクト	○農業産出額 ○海面漁業・養殖業産出額 ○延べ宿泊者数 ○外国人延べ宿泊者数 ○クルーズ船寄港数
第2節 九州圏の交流・連携の促進	③九州圏に活力をもたらす交流・連携の促進プロジェクト	○自然・歴史文化及び行祭事・イベントによる観光入込客数 ○九州圏内の旅客流動量
	④九州圏の交流・連携を促進するネットワーク基盤の整備プロジェクト	○高規格幹線道路等の開通延長(整備中の道路)
第3節 九州圏の基幹産業の活性化	⑤九州圏を支える基幹産業の発展と活性化プロジェクト	○自動車生産台数及びシェア ○製造品出荷額等(電子部品・デバイス・電子回路)
	⑥高度なニーズにこたえる農林水産業や地域産業の新たな展開プロジェクト	○地域団体商標数 ○六次産業化・地産地消法に基づく事業計画の認定数

	分野	モニタリング指標
第4節 九州圏の圏域機能の向上と連携の強化	⑦九州圏の活力源となる高次都市機能の向上と連携の強化プロジェクト	○立地適正化計画の策定について具体的な取組を行っている都市 ○スマートIC開通箇所数 ○インターネット利用状況(個人)
	⑧都市と農山漁村の連携の強化と生活環境の向上プロジェクト	○農山漁村振興交付金(農泊推進対策)実施地域数 ○地域公共交通網形成計画の取組団体数 ○定住自立圏による医療・福祉・教育取組市町村数 ○多面的機能支払制度による取組面積
	⑨離島・半島、中山間地域等の活力の維持と向上を図る定住環境の形成プロジェクト	○小さな拠点形成数 ○離島振興対策実施地域の活性化に資する事業数 ○地域資源活用事業計画認定数
第5節 九州圏の自然環境・国土の安全・安心の確保と	⑩九州圏の活力を担う人材の地産地活プロジェクト	○年齢層別転出・転入超過数 ○地域おこし協力隊員数 ○シルバー人材センターに登録している高齢者の就業者数
	⑪巨大災害等への対応力の強化プロジェクト	○地域強靱化計画(国土強靱化地域計画)の策定数 ○耐震強化岸壁の整備数 ○洪水ハザードマップの公表数
	⑫環境負荷の軽減と自然環境・国土の保全プロジェクト	○固定買取制度における再生可能エネルギー導入量 ○水素ステーション数 ○燃料電池自動車(FCV)保有台数 ○温室効果ガス排出量 ○一人一日当たりごみ総排出量 ○ごみのリサイクル率